

2025年1月5日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうぎょうかい}久宝教会
第67巻第41号(通算3423号)
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう
週報

教会標語

ちい 小くされてい^{ひと}る人を
たいせつ 大切にする^{きょうかい}教会



〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

しんねんれいはい
新年礼拝

こうたんせつ だい しゅじつれいはい
(降誕節 第2主日礼拝)

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたで
もご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙禱)

ちよさくけんしやうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しんと てがみ しょう せつ
コリントの信徒への手紙II 1章 4節

さんび か
賛美歌

ねんばん ばん まきびと ひつじ ちよさくけんしやうめつ
1945年版 103番「牧人、羊を」(©著作権消滅)

せい しょ
聖書

ふくいんしよ しょう せつ
マタイによる福音書 2章 1-15節

いの
お祈り

さんび か
賛美歌

しんせいさんびか ばん みにたり はかせ にほん urenmei
『新生讚美歌』192番「三人の博士は」(©日本バプテスト連盟)

メッセージ

かんげい ほうもんしゃ
「歓迎されない訪問者」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんび か
賛美歌

ばん くら やみ ほしひか きやうだんさんびかいていいんかい
21-278番「暗き闇に星光り」(©教団讚美歌改訂委員会)

ユーカリスト
聖餐

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

きやうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんび か ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り

ささげもの
献げ物(*)

は けん
派遣

しゅ いま い
「主は今、生きておられる」(©JASRAC)

しゅく ぶく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こう そう
後奏

ばん きやうだんさんびかいていいんかい
アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こく
報告

ページ さんしやう
(4頁をご参照ください)

せき すわ
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 コリントの信徒への手紙Ⅱ 1章 4節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

神は、どのような苦難の時にも、私たちが慰めて下さるので、私たちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。

聖書 マタイによる福音書 2章 1-15節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ イエスがヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、東方の^a博士たちがエルサレムにやって来て、² 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」³ これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。⁴ 王は祭司長たちや民の律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。⁵ 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。(脚注 a: 別訳「占星術の学者」)

⁶ 『ユダの地、ベツレヘムよ

あなたはユダの指導者たちの中で

決して最も小さな者ではない。

あなたから一人の指導者が現れ

私の民イスラエルの牧者となるからである。』(ミカ書 5:1)



⁷ そこで、ヘロデは博士たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。

⁸ そして、こう言ってベツレヘムへ送り出した。「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせしてくれ。私も行って拝むから。」⁹ 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに^{おさなご}幼子がいる場所の上に止まった。¹⁰ 博士たちはその星を見て喜びに^{あふ}溢れた。¹¹ 家に入ってみると、幼子が母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、^b乳香、^c没薬を贈り物として献げた。¹² それから、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通して自分の国へ帰って行った。

¹³ 博士たちが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、幼子とその母を連れて、エジプトへ逃げ、私が告げるまで、そこにいなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」¹⁴ ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ退き、¹⁵ ヘロデが死ぬまでそこにいた。それは、「私は、エジプトから私の子を呼び出した」と、主が預言者を通して言われたことが実現するためであった。(脚注 b: フランキンセンス、c: ミルラ)

《先週のお祈りより》2023年12月31日 歳末礼拝

祈りは私たちの生き方を変えることができます。そのことに信頼して、共に祈りしましょう。

私たちの神、私たちは今、過ぎ去ろうとしているこの1年を省み、私たちがたどってきた歩みを振り返り、あなたに感謝をささげます。

私たちが経験した沢山のことのなかには、驚くべきことがありました。私たちが笑顔にする大きな喜びのときがあり、また小さな喜びのときがあり、私たちを幸せにした数々の瞬間がありました。どうか、そのような無数のときが、あなたから出たものであるということを私たちに認めさせてください。そのような素晴らしい数々の思い出を大切に、あなたに感謝をささげることができすように。

私たちの神、私たちはまた、過ぎ去ろうとしているこの1年に起こった悲しいことや、私たちの生活の中で、完成されなかったこと、達成できなかったことの数々を思い起こします。この世界には重すぎる課題が多く、私たちの小さな肩ではそれらはとても担うことが出来ませんでした。また私たちには共に歩み始めた友がいましたが、途中で別れなければならないこともありました。それは誤解のゆえであったり、衝突のゆえであったり、また病のゆえ、死別のゆえであったりしました。

私たちの神、私たちは、この人生という旅路を独りで歩むことはできません。私たちと共に旅する友のために祈ります。私たちが共に生きる一つの家族であるという思いを持つことができますように。また、お互いを大切にしているということを感じることができますように。とりわけ、この地にあって、差別や偏見、疎外に直面している方々と、私たちが一つになることができますように祈ります。私たちが新しく出会うまだ知らない人たちを、怖がる必要がないということ私たちに学ばせてください。見知らぬ相手として不安に思うのではなく、あなたがすべての人を大切にされているゆえに、その方々を支えることができますように。

(出典・参照：「大晦日のメディテーション」『世界の礼拝』日本基督教団出版局)

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2024年12月29日 歳末礼拝

礼拝出席 大人3名 献金 大人3,000円 中継視聴者数13回 感謝

◎次週 2025年1月12日(日) 降誕節 第3主日礼拝

招きの詞 サムエル記(上) 16章 7節

聖書 マタイによる福音書 3章 16-17節

メッセージ 「まじBIG LOVE」水谷憲牧師

賛美歌 21-367番(©P.D.)、21-277番(©JASRAC)、21-481番(©P.D.)



◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、1月期の「教会を考える会」を行う予定です。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・次週1月13日(月・休)14時~16時半にかけて、大阪クリスチャンセンター1階ホールにて、大阪教区第44回在日韓国人問題シンポジウム「在日として生きて来た歴史とこれから」(主催:日本キリスト教団大阪教区)が開催されます。講師は委哲さんと徐翠珍さんです。事前申込は不要で、参加費も無料です。どなたでもご参加ください。
- ・1月17日(金)18時から「兵庫県南部大地震記念の日追悼礼拝」が神戸教会にて開催され、オンラインでも中継配信されます。下記のURLもしくはQRコードよりYouTubeにアクセス下さい(礼拝の式次第は日本基督教団兵庫教区のウェブサイトで、礼拝の数日前から頂けます)。



大阪教区第44回在日韓国人問題シンポジウム

「在日として生きて来た歴史とこれから」

2025年1月13日(月休) 14時~16時半
大阪クリスチャンセンター 一階ホール
〒544-0004 大阪市中央区玉造2丁目26-47)

講師: 李 哲さん、徐翠珍さん
参加費無料

徐翠珍 神戸市生まれ、在日中国人二世。公務員採用の競争率・面接の難し、指紋押捺至近査利外国人登録法・天災・不法入国など一連の指紋押捺運動、天災・不法入国、様々な市民運動に関わりながら現在に至る。

李 哲 1948年熊本出生。1972年中央大学卒業。1975年東京大学大学院在学中に在日留學生連合会代表となる。1990年在日留學生連合会代表として、2015年両党首脳会談に2019年文在寅大統領より謝罪を受ける。2020年より「ウリ民主連合」代表。議中の韓日「長官会談」を2021年出版し、日本、韓国両国で講演会活動を重ねている。

主催: 日本基督教団大阪教区 TEL: 06-6761-8562
実行委員会: 次郎 啓司 委員長
大阪教区自衛隊牧師会 事務局
在日韓国人問題活動センター

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/12	水谷憲牧師	
1/19	牛田匡牧師	おにぎり支援
1/26	池田優希牧師 (八尾教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 誕生者祝福式 河内地区女性会(@久宝教会) (14時~ 久宝教会・牛田牧師)
2/2	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会

**兵庫県南部大地震 記念の日
追悼礼拝**

「出来事が問う、その問いを石畳として」
~地域の再生なくして、教会の復興はありえない~

西澤他喜衛さん
(震災の年の教区定期総会で副議長、後に議長、兵庫県震災対策委員会にて長く責任者、長田活動センターの初代責任者、現在、須磨教会と徳島教会の牧師。)

阪神・淡路大震災から30年の時を迎えます。これまでわたしたちが被災者・避難者の方々と共にあつと祈り願い、行なえた、あるいは行なえなかった数々のことを想い起こします。また、震災半島の地震や津波・豪雨の災害に至るまで、この間その都度問われていることを、次の世代に引き継いでいくのも、わたしたちが今後向き合い続けなければならないことと考えます。その思いを持って、今もまた、記念の時を迎えたいと思います。

2025年1月17日(金) 午後6時
会場 および オンライン・ライブ配信

日本基督教団 神戸教会 (神戸市中央区花隈町 9-16)
会場に駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

オンライン・ライブ映像配信

○礼拝ライブ配信のURL
[https://www.youtube.com/live/7JuVRB1IDP8]
または右のQRコードから。

○礼拝の式次第は兵庫教区のホームページで、礼拝の数日前からダウンロードいただけます。
「日本基督教団兵庫教区事務所」で検索。
または右のQRコードから。

礼拝の動画はそのままアーカイブしますので、この機会にご都合の合わない方も、そこから視聴いただけます。

主催 日本基督教団 兵庫教区 (電話 078-856-4127)